

私のおすすめ

◎このコーナーでは、子育てや障害、認知症・介護当事者の目線から、普段の暮らしに役立つ「おすすめ」なものを紹介します。

小さな子がいる家族も楽しめる 冬のおでかけにぴったりの プラネタリウム&美術館

寒くなるとおっくうになりがちな冬のおでかけ。まして小さな子どもがいると連れて行くことをためらってしまう場所がありますよね。

そこで今回は、小さな子と一緒に楽しめるプラネタリウムと託児サービスがある美術館をご紹介します。いつもと違う時間をあたたかい室内でゆったりと過ごし、家族みんなでリフレッシュしましょう！

❖子どもたち向けに分かりやすく星空を解説

小田急江ノ島線・横浜市営地下鉄ブルーライン・相鉄いずみ野線「湘南台駅」から徒歩約5分の「藤沢市湘南台文化センターこども館」には、1千万個の星を映し出すプラネタリウム「宇宙劇場」があります。

ここでは小さな子を連れた家族が周りに気兼ねすることなく、安心して利用できる「キッズプラネタリウム」の投影を実施。前半には解説員による今夜の星空のお話、後半には幼児から小学生低学年向けの番組を上映しています。お話を聞くだけでなく、子どもが質問に答えたり、家族と話し合ったり、参加できる工夫があるので、飽きずに楽しめます。泣いたり騒いだりして退席したくなったときは、スタッフに出口まで案内してもらえるので、ラクな気持ちで鑑賞できます(再入場はできません)。

「プラネタリウムで見た星はそこで終わりではなく、本当の空でも見つけられるかもしれません。子どもたちの好奇心をくすぐり、日々の楽しみも増えると思いますよ」と、こども館の方にお話しいただきました。



(左)解説員がその場で優しく解説してくれる(中央)現在投影中の「たいようとブカブカ」は太陽の1日の動きが分かる番組(右)満天の星に「わあ、きれい！」と声が上がると

❖ゆっくり鑑賞してリラックスできるサービス

京浜急行「馬堀海岸駅」から観音崎行きバスで約10分、「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前停留所」下車後、徒歩約2分の「横須賀美術館」は、海と芝生の広場に面した自然の中にあります。

今月は⇒ **NPO法人 ままとんきっず**
がお伝えます！

今年で子育て支援活動25年目。お母さんたちが主体となって、親子が集うサロン、グループ保育、一時保育、各種講座、産後サポート、子育て支援センター、小学校での寺子屋事業、中学校での赤ちゃんふれあい体験事業などを運営。情報誌・単行本の発行物は45冊を超え、一部は海外でも翻訳出版。乳幼児から小中学生まで幅広い子育て支援により、地域の活性化を目指し、活動の場を広げている。

〈連絡先〉〒214-0011 川崎市多摩区布田24-26
☎044-945-8662 FAX 044-944-3009
URL <http://www.mamaton.jpn.org/>



こちらでは小さな子どもがいる家族も、国内や海外の近現代美術の展覧会をゆっくりと鑑賞できるように、定期的に月1回とイベント開催時に託児サービスを実施。おもちゃや絵本を用意した託児室で、保育スタッフが子どもを預かってくれます。

鑑賞後には館内のレストランで、海を眺めながらお茶を飲んでひと息つける楽しみも。天気がよい日は子どもと一緒に芝生の広場でお弁当を食べたり、遊んだり、一日のんびり過ごすのもよいでしょう。

「たまにはリラックスして美術館を楽しみたい方に、ぜひご利用いただきたいです」と横須賀美術館の方。託児は事前申込制です。詳しくはホームページをご覧ください。申し込みは託児実施日の2週間前まで



インフォメーション

●藤沢市湘南台文化センターこども館

☎ 0466-45-1500 FAX 0466-45-1503

URL <http://www.kodomokan.jp/>

- ・キッズプラネタリウム投影日時=土曜・夏・冬・春休みの平日午前10時30分、日曜・祝日午前10時30分、午後2時30分
- ・入場料=宇宙劇場 大人500円、子ども200円、ひざ上幼児無料

●横須賀美術館

☎046-845-1211 FAX 046-845-1215

URL <http://www.yokosuka-moa.jp/>

- ・定期託児実施日時=平成30年1月12日(金)、2月13日(火)、3月9日(金)ほか。午後1時30分から午後4時
- ・託児料=無料
- ・対象=1歳~未就学児
- ・観覧料=所蔵品展 大人310円(企画展の料金は別)